

「家庭の日」
5月は19日
一家そろって楽しい食事
一億の手と手で守る文化財
佐藤恭子(二中三年)
文化財保護入選標語 2席

会津若松

市政だより

昭和26年7月6日第三種郵便物認可

268号

昭和43年5月1日発行
発行所 会津若松市
发行人 松本善夫
編集広報係
定価 5円

毎月1日・15日発行



とじて保存しましよう

広報板

- ▷ 3日 市民憲章制定式(午前10時・公民館)
- ▷ 5日 子ども劇場(午前10時・市民会館)
- ▷ 7日 第4青年学級(毎週火・金午後7時・公民館)
- ▷ 8日 子ども劇場(午前10時・市民会館)
- ▷ 10日 文化団体連絡会議(午後7時・公民館)
- ▷ 16日 成人講座(毎週水午後7時・公民館)
- ▷ 16日 都市美化推進委員会(午前10時・公民館)
- ▷ 16日 中小企業設備近代化審査委員会(午後1時・公民館)

初の「植木市」にぎわう

▽ 最近の建物は、上へ上へと伸びる一方。家庭でも、庭に植物を植えて、育て愛するということが少なくなりました。

こんな現代のさつばつとした生活に少しでも、うるおいと豊かさを与えようと、国土緑化会津若松市推進委員会では、初の植木市を開きました。

▽ 四月十四日から三十日まで、鶴ヶ城西出丸に設けられたこの会場には、連日花見をかねて訪れる人たちでいっぱい。植木屋さんも、ひたいに汗の大奮闘でした。

▽ 店先には、真赤な花をつけた小さなサボテンから、モクレン、リラ、ウメ、はては数万円もある盆栽のたぐいまで、ぎっしり並べられ、ただよう春のかおりに、訪れたお客様も思わず目を細めていました。

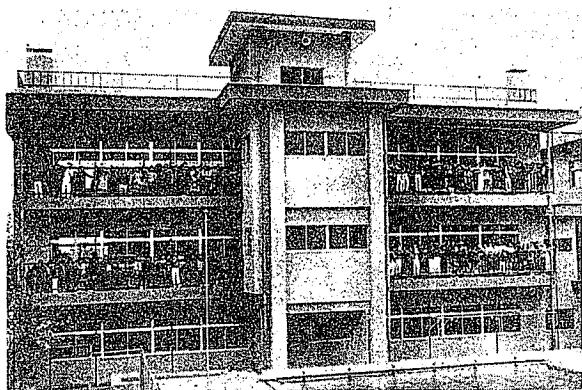
春の茶会を開きます

△ 日 時 5月8日(水) 午前10時~午後4時
△ 場 所 御茶園
△ 主 催 会津保松会
△ 懇 釜 裏千家流淡交会会津若松支所

佐治汲香庵(おがフ自)13回忌
追悼茶会
△ 日 時 5月19日(日) 午前10時~午後3時
△ 場 所 万花樓
△ 懇 釜 表千家流

無料法律相談を開きます

△ 日 時 5月4日(土) 午前9時~午後4時
△ 場 所 公民館4階
△ 主 催 福島県弁護士会会津若松支部
法務局福島地方法務局若松支局・会津若松市



よろこびにわく行仁小の児童たち

行仁小学校の新校舎が完成した。この校舎は、明治四十一(1908)年五月に着工され、六十年五月に竣工した。木造で古くなり、火災などの危険もある上に、最近は生徒数も増えているため、昭和三十八(1963)年から三期に分けて校舎の備室、放送室、給食室、保健室、職員室、宿直室、理科室、資料室、家庭科室、図工室、音楽室、更衣室、印刷室各一、倉庫二、便所三がさる三月末に完成しました。

新校舎は鉄筋コンクリート造三階建て(一部四階)延べ面積三千七百八十五平方メートル、総工費九千五百四十二万五千三百円でした。外観は明るいクリーム色、ホテルのみの立派なもの。各階に便

本市の危険校舎解消のための学校改革は、年次計画で着実に進められていました。四月十八日には、行仁小学校の校舎落成祝賀式が同小講堂で盛大に行なわれ、生徒はもちろん出席しました。父兄たちも、明るい近代的な新校舎の完成に、希望と喜びを顔いっぱいに表わしていました。

行仁小学校の旧校舎が建てられたのは、明治四十一(1908)年五月――ことしで六十年目になります。木造で古くなり、火災などの危険もある上に、最近は生徒数も増えているため、昭和三十八(1963)年から三期に分けて校舎の備室、放送室、給食室、保健室、職員室、宿直室、理科室、資料室、家庭科室、図工室、音楽室、更衣室、印刷室各一、倉庫二、便所三がさる三月末に完成しました。

新校舎は鉄筋コンクリート造三階建て(一部四階)延べ面積三千七百八十五平方メートル、総工費九千五百四十二万五千三百円でした。外観は明るいクリーム色、ホテルのみの立派なもの。各階に便

行仁小 盛大に落成祝う

じきアーチークの新校舎

きめこまかに設計がみられます。

十八日は午前十時から落成式が行なわれ、父兄や先生方約二百五十人が出席、

工事請負業者に感謝状を贈り、竜川校長から高瀬市長

に對して感謝のことばがあ

り式を閉じました。参列者

は新校舎を見学して、落成

式を行なわれ、父兄や先

生方約二百五十人が出席、

工事請負業者に感謝状を贈

り、竜川校長から高瀬市長

に對して感謝のことばがあ

り式を閉じました。参列者

は新校舎を見学して、落成

式を行なわれ、父兄や先

